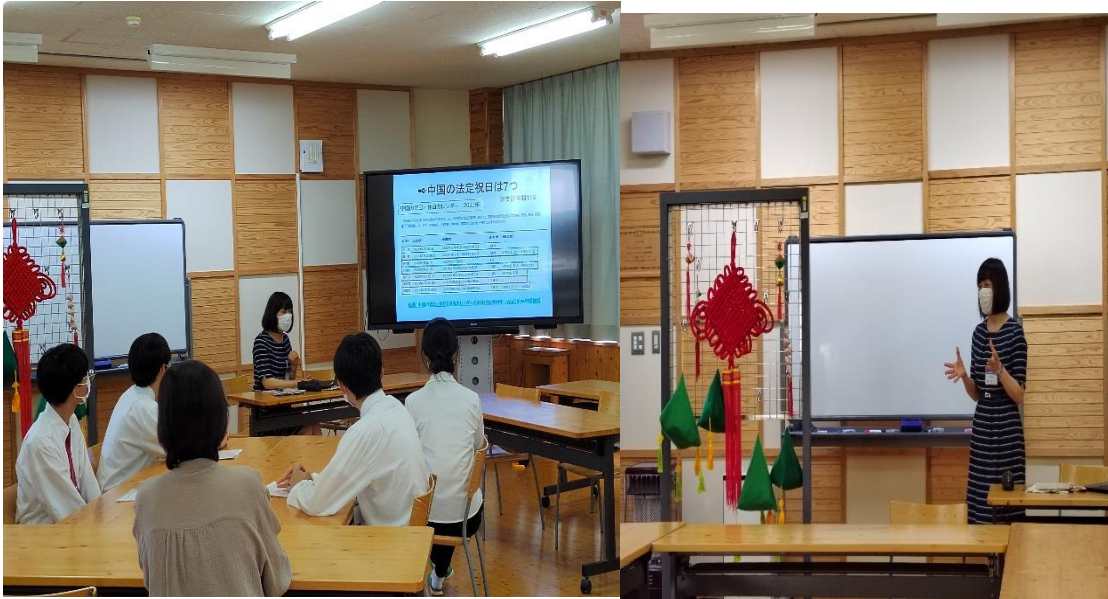


岡山県立津山商業高校との中国文化交流会を開催

5月27日（土）、孔子学院スタッフ4名と留学生2人が岡山県立津山商業高等学校を訪問し、中国文化交流会を実施した。高校側は1年生3名、2年生3名と担当教員3名が交流会に参加した。交流会は孔子学院事務の佐々木職員が司会を務めた。交流会は前半と後半の2部に分けて行った。



前半ではまず、孔子学院黎曉妮学院長より、岡山商科大学孔子学院の事業活動と岡山商科大学について紹介した。その後、李東輝副学院長より岡山商科大学と中国側提携大学である大連外国語大学のプロモーション動画で大連外国語大学を紹介した。



後半は、交流会に参加された生徒に自己紹介していただいた。参加者 6 名のうち 3 名が昨年度も参加者してくださっており、その 3 名の生徒には中国語で簡単な自己紹介していただいた。その後、参加者に端午節の雰囲気を感じてもらうために用意した中国のお菓子和中華粽をお渡しした。生徒の皆さんは中国のお菓子を食べながら、興味津々で韓雲冬副院長が紹介した中国の端午節句に関する話に耳を傾けた。中国で今年の端午節は 6 月 22 日である。韓副院長は隣国と比較しながら、端午節の由来と風習及び行事食として食べられる中華粽について説明した。最後に端午節句と中国に関するクイズ大会をした。



今年度、津山商業高校の生徒と深く交流するために、2 名の中国留学生も交流会に参加した。限られた時間での交流ではあったが、十分に交流ができ、また、動画鑑賞、PPT での説明、中国文化や風習、中国語の世界を体感できた有意義な

時間となった。



中国文化交流会は毎年、孔子学院の恒例活動として実施しているイベントであるが、同時に文部科学省・私立大学教育研究活性化設備整備事業を利用した岡山商科大学の遠隔通信システムによる国際交流事業の一環として、津山商業高校中国語受講生を対象に、遠隔授業が実施されており、開講に先立ち受講生を中心に交流会が予定されている。交流会に参加した6名の生徒は6月2日（金）から週1回30分、計6回遠隔中国文化講座を受けることになっている。

文筆：李東輝

2023年5月28日